

# 第5章 産業・経済

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響				
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの			
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成しており、一定の成果が挙げられていると考えられる。	H30年度に改善した点	無	無			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	49,312千円	48,859千円	①企業立地奨励金の交付件数 ②工場等の立地相談対応件数 ③先進自治体視察	企業立地奨励金の交付件数	誘致対象事業者の新規立地を、年間1件以上あることを目標(支給期間3年間のため3件)とした。									
	根拠法令	所沢市企業立地支援条例、及び、同施行規則 所沢市都市型産業等育成補助金交付要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	3件	H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析		
	事業の目的及び具体的な内容	本市の立地環境を活かし、企業立地等奨励金や補助金により製造業や都市型産業等(情報通信業、アニメーション・コンテンツ・ICT関連産業、宿泊施設、社員20人以上の本社等)の立地・拡大の推進及び育成を行い、市内経済の活性化、雇用の創出、税収の増加を図るものである。	5,260千円	4,644千円			H30年度目標	H30実績								
	期間	H24～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職			0.40人	0.00人							R元年度目標	
			3,394千円	臨時職員			0.00人									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合 非常勤特別職	0.91人			0.00人									
		7,626千円	臨時職員	0.00人												
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	各重点事業において、概ね目標を達成していると考えているものの、4事業については、成果として実現できていない状況であり、今後、取り組みを加速させていく必要があると考える。	H30年度に改善した点	無	無			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①会議の開催数 ②委員からの意見数 ③	重点事業達成率	所沢市産業振興ビジョンの実現には、先導プロジェクトA～Dで掲げる重点事業を達成していくことが重要である。各重点事業の達成率を指標とし、達成率の目標は、100%とする。									
	根拠法令	所沢市産業振興ビジョン推進会議条例	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	0.0%	H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析		
	事業の目的及び具体的な内容	所沢市産業振興ビジョンの実現に向けて市民、産業関係団体等及び市が一体となって実施する産業振興施策の推進に関し必要な事項について協議を行わせるため、平成30年度より、所沢市産業振興ビジョン推進会議を置き、年間3回程度の開催を行い、産業施策等に対する意見等を徴取する。	404千円	236千円			H30年度目標	H30実績								
	期間	H28年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職			0.00人	0.00人							R元年度目標	
			0千円	臨時職員			0.00人									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合 非常勤特別職	0.60人			0.00人									
		5,028千円	臨時職員	0.00人												
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	事業目的がビジネスマッチングの機会創出であることから、新事業を少なくとも1件以上創出することを目標とした。	H30年度に改善した点	無	無			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	70千円	40千円	①きっかけづくり交流会参加団体数 ②きっかけづくり交流会新規参加団体数 ③農工商連携により創出された新事業数	農工商連携により創出された新事業数	事業目的がビジネスマッチングの機会創出であることから、新事業を少なくとも1件以上創出することを目標とした。									
	根拠法令	特になし	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	1件	H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析		
	事業の目的及び具体的な内容	農業者、飲食店業者、食品加工業者等の情報交換・ビジネスマッチングの機会として「農工商連携のための勉強会」、「農工商連携のためのきっかけづくり交流会」を開催し、農業者の事業環境改善や、商工業者の製品・商品開発及び販売促進を図るもの。	74千円	44千円			H30年度目標	H30実績								
	期間	H23年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職			0.41人	0.00人							R元年度目標	
			3,479千円	臨時職員			0.00人									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合 非常勤特別職	0.36人			0.00人									
		3,017千円	臨時職員	0.00人												
産業振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	魅力的な特産品の創出が事業目的となっていることから、創出促進のための各支援(補助支援・認定支援・販路支援)の実績値を目標値に設定した。	H30年度に改善した点	無	無			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	618千円	423千円	①補助対象事業申請件数 ②補助対象事業選定件数 ③認定商品申請件数 ④認定商品選定件数 ⑤販売協力店舗数	①補助対象事業の選定件数(H29～31年度) ②認定商品の選定件数(H30～32年) ③販売協力店舗数(H30～32年)	魅力的な特産品の創出が事業目的となっていることから、創出促進のための各支援(補助支援・認定支援・販路支援)の実績値を目標値に設定した。									
	根拠法令	所沢ブランド特産品創出支援補助金交付要綱 所沢ブランド特産品認定要綱	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	①3件 ②- ③-	H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析		
	事業の目的及び具体的な内容	平成29年度より実施している本事業は、「ところざわサクラタウン」の完成や東京オリンピック・パラリンピック開催等の好機を見据え、訪日外国人客を含めた市内外に販売できるよう、地場農産物等を活かした特産品の創出支援を目的とする。 今後においても、地域経済の活性化や所沢ブランドの創造を図り、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」重点プロジェクトに位置付けられた「COOL JAPAN FOREST構想」の推進に資するものである。	2,934千円	2,046千円			H30年度目標	H30実績								
	期間	H29年度～	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合 非常勤特別職			0.66人	0.00人							R元年度目標	
			5,600千円	臨時職員			0.00人									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合 非常勤特別職	0.67人			0.00人									
		5,615千円	臨時職員	0.00人												